

# 雜 報

## ◎人 事

正七位勳四等 矢野 恒 太  
 失業対策委員會委員被仰付 (七月二十二日)

臺灣總督府臺北醫學專門學校教授 久保 信 之  
 一級俸下賜 (六月三十日)

從六位 松本 武 一 郎  
 從六位 根 岸 博  
 敘正六位 (七月十五日)

西丸 和 義  
 任岡山醫科大學助教授  
 敘高等官七等

岡山醫科大學助教授 西丸 和 義  
 本俸十一級俸下賜  
 職務俸金四百五圓下賜 (七月二十五日)

朝鮮道立醫院醫官 石 原 貫 一  
 二級俸下賜 (七月二十日)

岡山醫科大學助教授 關 正 次  
 本俸六級俸下賜 (八月二日)

陸軍三等軍醫正 河 崎 標 也  
 正六位勳四等 矢野 義 德  
 陸軍三等軍醫正 正六位勳五等

任陸軍二等軍醫正  
 陸軍一等軍醫 小 竹 豐  
 從六位勳五等 田 村 權 五 郎  
 陸軍一等軍醫 從六位勳五等

任陸軍三等軍醫正  
 陸軍二等軍醫從七位 安 田 常 男  
 陸軍二等軍醫從七位 古 田 壽 次  
 陸軍二等軍醫從七位 三 木 良 定

任陸軍一等軍醫  
 廣島衛戍病院附 田 村 權 五 郎  
 陸軍三等軍醫正  
 補臺灣步兵第二聯隊附

步兵第三聯隊附 川 北 伊 勢 吉  
 陸軍三等軍醫正  
 補山砲兵第十一聯隊附  
 陸軍二等軍醫正 矢野 義 德  
 補熊本衛戍病院附  
 飛行第六聯隊附 正 木 豐  
 陸軍三等軍醫正  
 補岡山衛戍病院附  
 陸軍三等軍醫正 小 竹 豐  
 補步兵第二十八聯隊附  
 深山衛戍病院附 森 定 惠  
 陸軍一等軍醫  
 補大阪衛戍病院附兼大阪陸軍糧秣支廠廠員  
 工兵第十四大隊附 吉 岡 總 一  
 陸軍一等軍醫  
 補騎兵第七聯隊附  
 步兵第十四聯隊附 武 田 要  
 陸軍一等軍醫  
 補第五師團軍醫部部員  
 工兵第十大隊附 大 橋 要 人  
 陸軍一等軍醫  
 兼補岡山陸軍兵器支廠廠員  
 陸軍造兵廠平壤兵器製造所廠員 陸軍二等軍醫 山 本 靖 造  
 兼補陸軍兵器本廠廠員 (八月八日)

關 谷 重 幸  
 敘從七位 (八月一日)

正六位勳五等 藤 田 秀 三 郎  
 敘勳四等授瑞寶章 (八月十六日)

陸軍二等軍醫 戒 能 一 郎  
 賜一等給 (八月十一日)

岡山醫科大學教授 稻 田 進  
 賜本俸三級俸 (八月十七日)

陸軍一等軍醫 吉 岡 總 一  
 陸軍一等軍醫 菅 田 濟  
 賜二等給 (八月十一日)

岡山醫科大學助教授 大 熊 泰 治  
本俸六級俸下賜 (八月二十五日)

陸軍一等軍醫正 荻 本 快 吉  
豫備役被仰付 (八月三十日)

○安田常男君 は今般陸軍省より獨逸國駐在員を命  
せられ來る 10 月 31 日横濱出帆の照國丸にて出發せ  
らるる豫定なり

○吉田稻太郎君 は先般和歌山市生馬病院を辭し和  
歌山縣海草郡日方町に於て開業せられたり

○今川誠一君 は今般松山市二番町守屋病院を辭し  
香川縣三豊郡笠田村に於て開業せられたり

### ◎學位授與

谷尙一、大西義衛、後藤義貞の 3 君は岡山醫科大學  
に論文を提出し學位を請求し居られしか本年 6 月 20  
日の教授會を通過し本月 9 日醫學博士の學位を授與  
せられたり其主論文及び參考論文は左の如し

谷 尙 一 君

#### 主 論 文

- 2, 3 交感神経毒ノ催進及ビ抑制性交感神経纖維ニ  
對スル作用強度比較研究 (本誌第 42 卷第 11 號  
及ビ本誌第 43 年第 3 號ニ發表ス)

#### 參考論文

1. 「アドレナロン」及ビ「アドレナリン」ニ對スル  
肝臟ノ解毒作用ニ就テ (本誌第 43 卷第 8 號  
ニ發表ス)
2. 「アドレナリン」及ビ「ズブラレニン」及ビ「アド  
レナロン」ノ呼吸作用ニ就テ (本誌第 44 年  
第 5 號ニ發表ス)
3. 「アドレナリン」及ビ「アドレナロン」ノ「マウ  
ス」ニ對スル毒性比較竝ニ其死因ニ對スル諸  
種藥物ノ影響 (日本藥學雜誌第 13 卷第 3  
號ニ發表ス)

4. 「ピロカルピン」ノ交感神経作用ニ就テ (本  
誌第 43 年第 12 號ニ發表ス)
5. 疲勞ノ藥物作用ニ及ボス影響 (本誌第 43 年  
第 11 號ニ發表ス)
6. 硫酸「スバルテイン」ノ藥理學的研究 (本誌  
第 43 年第 6 號ニ發表ス)

大 西 義 衛 君

#### 主 論 文

1. 中心聽路特ニ顯額葉ト内膝狀體トノ關係ニ就  
テ (第 1 報) (本誌第 43 年第 8 號ニ發表ス)
2. 聽覺中樞路ノ纖維殊ニ後四疊體ヨリ發生シ若  
クハ茲ニ終止スル上行及ビ下行纖維ニ就テ  
(第 2 報) (本誌第 44 年第 1 號ニ發表ス)
3. 中樞聽路ノ研究 (第 3 報) 外膝係ヨリ發生若  
クハ茲ニ終止スル纖維ニ就テ (本誌第 44 年  
第 1 號ニ發表ス)
4. 中樞聽路ノ研究 (第 4 報) 後四疊體膊ノ上行  
及ビ下行纖維ニ就テ (本誌第 44 年第 4 號發  
表ス)

#### 參考論文

1. 家兎内膝狀體ノ組織學研究 (本誌第 43 年第  
6 號ニ發表ス)
2. 家兎内膝狀體ノ發育的研究 (本誌第 44 年第  
2 號ニ發表ス)

後 藤 義 貞 君

#### 主 論 文

水晶體ノ血清學的研究 (特ニ腸粘膜トノ關係ニ就  
テ) (岡山醫科大學歐文業府第 3 卷第 2 號ニ發表  
ノ豫定)

#### 參考論文

1. 自家及ビ同種水晶體抗體産成ニ就テ (伊東一  
生共著) (岡山醫科大學歐文業府第 3 卷第 2  
號ニ發表ノ豫定)

2. 眼結膜ニ於ケル過敏性局所反應竝ニ結膜ノ免疫學的觀察 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 硝子體ノ特異性ニ關スル研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 免疫體ノ前房内移行ニ及ボス上頸交感神經除去ノ影響ニ就テ (本誌第44年第1號ニ發表ス)
5. 大ナル鋼鐵片眼内竄入ノ爲メ交感性刺戟ヲ起セル一實驗例 (實驗眼科雜誌第10年第70號ニ發表ス)
6. 眼窩緣打撲ニ因スル突發性失明ノ1例 (眼

科臨牀醫報第22年第6號ニ發表ス)

7. 先天性無眼ノ1例 (眼科臨牀醫報第24年第3號ニ發表ス)
8. 角膜皮様腫ノ1例 (眼科臨牀醫報第22年第8號ニ發表ス)

◎臨海研究所

岡山醫科大學にては今般香川縣仲多度郡本島村に臨海研究所を創設することとなり本月19日午前11時より現地に於て田中學長竝に同學職員及び同地方有力者列席し地鎮祭を執行したり

◎岡山醫學會第344回通常會

本年9月15日午後4時より岡山醫科大學に於て開會の筈なり